

御料私領
一人數貳拾貳萬四千五百五人

内拾壹萬貳千六百六拾五人
拾壹萬三千三百九拾五人

女男

高貳拾九萬三千七百八拾六石餘

河内國

風俗

〔人國記〕河内國

河内國之人ハ、風俗上下男女トモニ氣柔ニシテ、譬ヘバ雪之朝ニ庭前ヲ見レバ、一柳之枝ヲタヲ
マスト云ヘドモ、不折ガ如シ、上手之風俗ト可知ナリ、然レバ士農工商トモニ富貴ナル人ハ、都テ
驕リ之氣有テ、人ヲ足下ニ見イヤシム心甚強シ、雖然氣ニ和有ガ故ニ、物之道理ヲ知ル時ハ、名高
キ人モ有ルベキナリ、上河内郡ハ、城州ニ風俗不替ナリ、下河内郡ハ、人之氣直ニ而頼母敷キ處有
リ、丹南郡、石川郡、錦部郡之人ハ、別而餘國ニ違テ、智惠有テ實有テ物之品アリ、言葉之様子ハ、城州
ニ似タル様ナレドモ、上下トモニ每物卑劣ナリ、此レ是國之人ヲナビケンニハ、其政ヲユルクシ、
氣ヲ同フ而少シ辯有人ヲマチキテ、談ズル時ハ、危キコトナク可從、若シ權威ヲ振フ時ハ、惡ム處
之者多カルベシ、己ガ長ヲ立ル時ハ、必ズ妬起リ禍ヲタクム故ニ、却而敵トナルベシ、亦自ラ言ヲ
出テ人ヲ誹ル時ハ、還而是國之人ハイキドヲリ深クシテ、從フヤウ成トモ服スル處ナカルベシ、
寔ニ其國、其濕土ニ因テ、音聲之替ルコト可知事ナリ、

〔河内志〕風俗 素樸淳厚、不事奢麗、力稼穡、存尙古之風、有些義氣、婦務織、紵、罽、麻、布、棉、布、爲恒産、凡
民淫佛、崇僧、先香火、後貢賦、

名所

〔日本鹿子〕同國内○河 中名所之部

交野原 八幡にちかし、葛の宮よりは南也、○歌

天川原 東より西へ流たり、ほそき川也、かたのの間也、竹川も此つゞきなり、

渚森 淀川の末也、川より南に宮あり、京より六里也、

生駒山 此山立田にちかし、京よりかすかに見えたり、八幡より南に高安の里有○中